

青森県の縄文遺跡群情報発信拠点施設整備について

1 基本的な考え方

(1) 目的

本拠点は、世界遺産「北海道・北東北の縄文遺跡群」のうち、主に青森県内に所在する8つの構成資産について、実際に現地へと足を運んでもらえるよう観光客等の利用者へアクセス情報等を広く提供するとともに、その価値と魅力を伝えることを目的とする。

また、縄文遺跡と触れる機会の少ない方や、より多くの県民の方々に対しても「縄文遺跡に触れる」機会を積極的に提供し、縄文遺跡群への興味・関心を喚起し、県内構成資産への誘客・周遊につなげるものである。

(2) 基本方針

現地への誘客・周遊を促進し、縄文遺跡群の価値や魅力を伝える情報発信・案内拠点

- ① 県内構成資産への誘客・周遊につながる様々な情報の提供
→ 現地への交通アクセスや遺跡周辺を含めた見学情報の提供・発信
- ② 多様な利用者に向けた縄文遺跡群の価値や魅力の伝達
→ 縄文ファンや観光客のほか、家族連れや若者などに向けた理解促進の機会の提供
- ③ 縄文遺跡に触れて親しむ憩いの空間づくり
→ ワークショップや縄文体験を通じた学びと憩いの機会の提供
- ④ 地元自治体との連携による情報の発信
→ 現地での見どころや体験など、現地ならではの情報の提供・発信

(3) 主な利用者層

青森駅直結という立地を踏まえ、想定される利用者及び案内の内容は次のとおりである。

- ① 遺跡見学者
縄文遺跡群や世界遺産に関心を持ち遺跡を訪れようとする見学者に対し、交通アクセス等の情報を確実に提供する。また、リピーターとして繰り返し訪れてもらえるよう、各遺跡の最新情報やミニ企画展などを用意する。
- ② 県内外の観光客
県内外の観光客に対し縄文遺跡群についての認知度向上を図り、世界遺産としての価値をわかりやすく紹介する。また、外国人に対しては多言語化による案内を整備する。
- ③ 小中学生、一般の人々
小中学生には歴史や地域の学習の場として、一般の人々には地域の歴史探求の場としての活用を想定する。
- ④ 縄文ファン
最新の縄文遺跡群に関する情報を発信するとともに、縄文ファンのすそ野を広げ、露出拡大や保護意識の醸成につながる事業を展開する。
- ⑤ 駅利用者
通勤・通学や買い物等により高頻度で駅を利用する若者や家族連れ等に対し、縄文遺跡群を身近に感じ実際に現地を訪れるよう、様々な演出や体験型事業を展開する。

2 施設計画

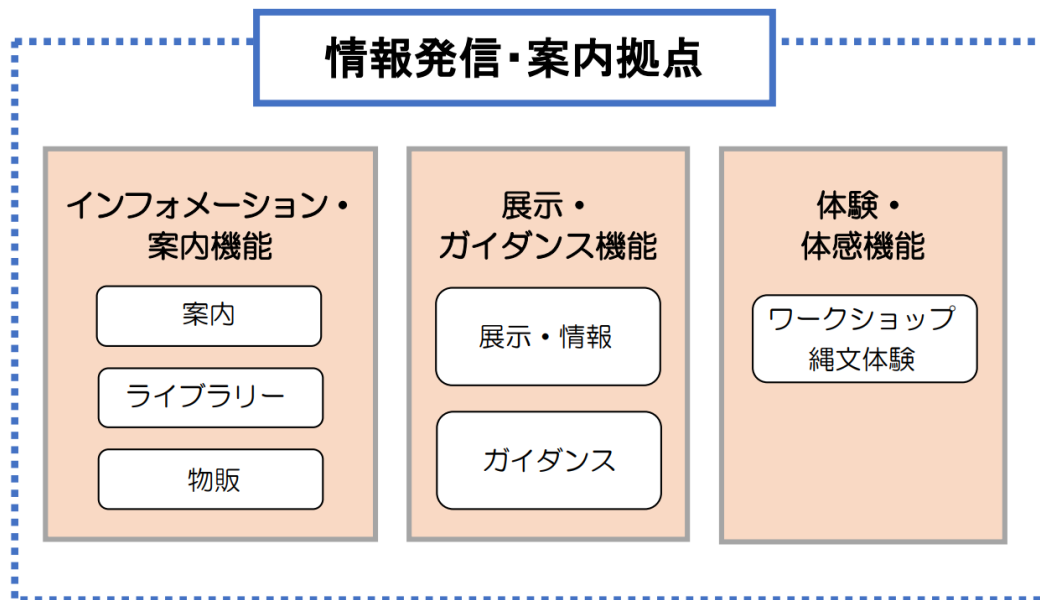
(1) 施設の整備環境

本施設は、青森駅東口旧駅舎跡地を活用して建造される駅ビル（10階建て）の4階に整備される。青森駅は県都青森市の玄関口として乗車人員が多く、観光客の利用に加え、通勤・通学での利用頻度も高いなど、県の中心的な交通結節点としての役割を担っている。また、駅周辺の再開発による新たなにぎわいの創出など交流人口の拡大が期待されており、駅ビルにおいても多くの利用者が見込めることから、県内構成資産への誘客・周遊の促進及び縄文遺跡群の認知度向上を図る上での効果は高いものと考えられる。

ただし、駅ビル4階へのアクセスはホテルエントランスと共用のエレベーターのみとなっており、青森駅利用者や駅ビル下層の来館者を含めた多くの方を誘導するための工夫が必要である。

(2) 機能の整理

県内構成資産へ実際に足を運び、縄文遺跡群への理解を深めてもらうため、本拠点ではインフォメーション・案内機能、展示・ガイダンス機能、体験・体感機能を有し、それぞれの機能に基づいた事業を展開する予定である。



<機能構成図>

①インフォメーション・案内機能

県内構成資産への交通アクセスや見学情報等を提供するインフォメーションとしての機能とともに、縄文遺跡群に関する情報を提供する。

求められる要素	主な事業
・案内 ・ライブラリー ・物販	①案内・オリエンテーション事業 →各種相談や問合せ等への対応 ②広報活動 →SNS等を活用した情報発信 ③縄文ツーリズム等の各遺跡への誘導 →県内構成資産へのアクセスや周辺情報等の提供 ④関連施設とのイベント事業 →連携したイベントや展示等の開催

②展示・ガイダンス機能

県内構成資産について、様々な手法によりその概要と魅力を紹介する。また、リピーターや縄文ファンへの関心にも応えられるようミニテーマ展示を展開する。

求められる要素	主な事業
<ul style="list-style-type: none"> ・展示 ・映像コーナー 	①常設展示・ミニ企画展示 →縄文遺跡群等をテーマとした、最新技術や演出を用いた展示 ②関連施設・機関とのタイアップ展示 →各資産との連携による展示や企画等の開催

③体験・体感機能

現地への来訪動機を高めるため、様々な手法により縄文遺跡に触れ親しむ機会を創出する。

求められる要素	主な事業
<ul style="list-style-type: none"> ・ワークショップ ・縄文体験 	①ワークショップ →縄文時代のくらしを楽しみながら学ぶワークショップの実施 ②縄文遺跡群に親しむための子ども向け体験活動

④その他の機能

多くの方に当施設を利用いただくため、講座等に利用可能なスペースの貸出を行う。

求められる要素	主な事業
<ul style="list-style-type: none"> ・スペース貸し出し 	①講座・講演会等 →縄文遺跡群及び世界遺産関連の連続講座や講演会等の開催 →その他講座等へのスペースの貸出

(3) 各コーナー（ゾーン）の概要整理

必要な機能により、本拠点には次のような諸室が求められる。

機能	必要諸室	概要
インフォメーション・案内機能	インフォメーションカウンター	様々な案内や問合せ等への対応
	ライブラリー	縄文遺跡群に関する情報を知るための書籍やデータベース
	ショップ	縄文遺跡群に関するグッズや書籍の販売
展示・ガイダンス機能	展示室	県内構成資産について、ジオラマや模型、映像、グラフィック等によりわかりやすく紹介する。
	映像コーナー	縄文遺跡群の魅力と価値について、迫力ある映像により紹介する。
体験・体感機能	ワークショップ、縄文体験	主に子ども向けに縄文時代のくらしを体験するスペース
管理機能	事務室、倉庫	事務室職員はカウンター対応を含め3～4人の配置を想定